

ゲンビどこでも企画公募 2013

作品募集：2013年7月1日(月)～8月31日(土)

展示期間：2013年11月2日(土)～11月24日(日)

今年も自信作・意欲作を大募集！

審査のポイントはスペースと作品のコラボレーション効果

「ゲンビどこでも企画公募」は広島市現代美術館の無料パブリックスペースをアーティストに開放して開催するオープン・プログラムです。本プログラムは、美術館の展示室ではないさまざまな空間の特徴を活かした、作品展示プランを広く国内外から募集します。空間と作品の魅力を互いに引き出し合っていることが重要な審査ポイントです。絵画、立体、インスタレーション、パフォーマンス等、作品メディアは問いません。本企画を通して、アーティストの意欲的な表現をサポートし、発表の場を提供します。

＊募集期間中には、応募希望者を対象にパブリックスペースをツアーで案内する「現地説明会」を行います。

＊ウェブでもスペースの特徴や過去の入賞作品の展示風景を掲載します。

<http://www.hiroshima-moca.jp/dokodemo/>

地元企業・特別審査員とともに行うアーティストの育成、そして美術館の新たな魅力の創出

アーティストの意欲的な表現をサポートし、発表の場を提供するとともに、美術館という場の新しい魅力を創出し、発信することを目的として行う本プログラム。さらに、地域で支える創作活動の場を地元との連携から作り出していけるようにとの趣旨に賛同いただいた地元企業3社（オタフクソース株式会社、オリエンタルホテル広島、広島アンデルセン）と、各方面で活躍する特別審査員との協力体制により、創造の場と交流の場を創出します。

アートの各方面で活躍する特別審査員

岡部あおみ／美術評論家、キュレーター

東京都生まれ。国際基督教大学を卒業後、パリ・ソルボンヌ大学修士課程、ルーヴル学院研究論文過程修了。パリ・ポンピドゥーセンターの初期写真コレクション研究に携わり、1986年には同センターの「1910-70 前衛芸術の日本」展共同キュレーターを務める。パリ国立美術学校講師・客員教授の後、メルシャン軽井沢美術館で「バルテュスとジャコメッティ」展、「ジョルジュ・ルース」展などを企画。1999-2011年にかけ武蔵野美術大学教授を務め、アートと社会を結びつけるための実践的な講義や活動を行うとともに、後進の指導にあたる。2006-07年、ニューヨーク大学特別研究員。文化庁メディア芸術祭2013選考委員。現在、資生堂ギャラリートアドバイザー。

椿昇／アーティスト、京都造形芸術大学教授

京都府生まれ。京都市立芸術大学美術専攻科修了。1989年に全米を巡回した戦後日本の美術作家を紹介する展覧会「アゲインスト・ネイチャー」に《Fresh gasoline》を発表し注目を集める。1993年にはベネチア・ビエンナーレに出品。2001年の横浜トリエンナーレでは、巨大なバットのバルーン《インセクト・ワールドー飛蝗（バット）》を展示し話題を呼ぶ。2003年、水戸芸術館「国連少年展」。2009年、京都国立近代美術館「椿昇 2004-2009：GOLD/WHITE/BLACK」、2012年、霧島アートの森「椿昇展“PREHISTORIC __ PH”」を開催。美術と社会の関係を考察する衝撃的な作品を発表し続け、日本の現代美術を代表する作家の一人として世界的に注目を集めている。

橋本麻里／美術評論家、ライター、編集者

神奈川県生まれ。国際基督教大学教養学部卒業。大学を卒業後、出版社に勤務した後、日本美術を主な領域とするライター、編集者となる。「芸術新潮」や「BRUTUS」等の雑誌記事の執筆の他、CREA Webにてコラム「この美術展を見逃すな！」と題し、ジャンルを横断した美術展批評を連載するほか、高校美術教科書の編集・執筆も手がけている。著書に『日本の国宝100』（幻冬舎新書）、『ニッポンの老舗デザイン』（マガジンハウス）、共著に『浮世絵入門 恋する春画』『運慶：リアルを超えた天才仏師』（新潮社とんぼの本）がある。また、twitter (@hashimoto_tokyo)でも、積極的に情報発信を続けている。



- ・アーティストの育成
- ・美術館の新たな魅力を発信
- ・創造の場、交流の場をつくる



A 岡部あおみ
B 椿昇
C 橋本麻里

作品プラン募集 7月1日(月)～8月31日(土) 必着

応募要項

- ① 作品のジャンルは問いません。(パブリックスペースの広さや構造において実現可能なもの)
- ② 広島市現代美術館のパブリックスペース(エントランスホール、ミュージアムスタジオ、回廊、ホワイエ、階段まわり等)を活用した展示プランと作品であること。
- ③ 開催期間を通して展示できる作品であること。(パフォーマンスや演奏の場合は1日単位でも可)
- ④ 作品の制作、設置、展示、撤去、運搬、並びに広島市現代美術館までの交通費や宿泊費など、当企画に関わる費用などは、すべて出品者の負担となります。

応募方法

応募用紙(ウェブサイトからダウンロードするか、記載必要事項を満たしたもの)に、必要事項を記入のうえ、現代美術館「ゲンビどこでも企画公募2013」係まで郵送してください。持参される場合、開館時間内に美術館にお持ちください。

現地説明会

- 2013年7月21日(日) 13:30～
- 応募希望者を対象に、展示場所になるパブリックスペースをツアーでご案内します。
- ※特設サイトでもパブリックスペースの外観や特徴、過去の展示風景を掲載します。

審査選考・結果発表 10月1日(火) ウェブで入選者発表!

審査および入選者の発表

特別審査員と当館学芸スタッフによる審査を行い入選者を決定します。さらにその中から各賞を選出します。

- ◎ 入選:8名/組→金一封(5万円)とオリエンタルホテル広島・シングル1泊(11月1日、朝食付)を授与
 - ・特別審査員賞:3名/組→オタフクソース株式会社および広島アンデルセンより副賞
 - ・オリエンタルホテル広島賞:1名/組(オリエンタルデザインギャラリーでの個展開催の機会提供)
 - ・観客賞:1名/組(来場者による投票。投票期間:11月2日～11月17日)

展覧会 11月2日(土)～11月24日(日) 入場無料

- ◎ 入選作家8名/組の作品とゲンビスペースのコラボレーションをぜひご覧ください!

授賞式

- 2013年11月2日(土) 14:00～
- 入選者に賞状および金一封と協力企業からの副賞を贈呈します。式にはどなたでも参加でき、協力企業の提供による食を楽しむスペースも。

地元協力企業の日

観客賞へ投票していただいた先着50名様に素敵なプレゼントがあります。

- 広島アンデルセンの日/11月3日(日)「石窯食パン」
- オタフクソースの日/11月10日(日)「広島お好み焼こだわりセット」

※プレゼントの内容は変更になることがあります。

※特設サイト(応募要項、応募用紙ダウンロード、展示スペースや選考の経過紹介など)
<http://www.hiroshima-moca.jp/dokodemo/>

過去の「ゲンビどこでも企画公募」入選作品



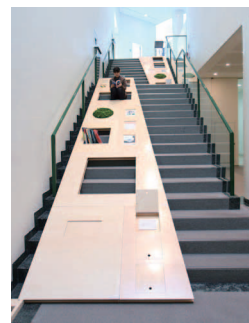
2012年/特別審査員賞(贅嘔賞)
横田健司《sky climb》



2011年/特別審査員賞(谷尻誠賞)
中村潤《kamiwoamu kamiwomaku iriguchi》



2011年/入選
竹之下亮《うたをください》



2009年/地元企業賞
谷田真+名城大学建築学科谷田研究室
《どこでも・何にでも・ファニチャー》



2009年/入選
松岡映里《Project.A》

広島市現代美術館
 (学芸担当:齋藤 広報担当:後藤、鈴木)
 〒732-0815 広島県広島市南区比治山公園 1-1
 TEL/ 082-264-1121(掲載用)・082-264-1146(学芸直通) FAX/ 082-264-1198
 E-MAIL/ hcmca@hcmca.cf.city.hiroshima.jp
 WEB/ <http://www.hiroshima-moca.jp>